

生徒数急増

昭和 30 年代は生徒急増期だった。24 年度は商業科 3 学級だったのが、25 年度 4 学級、37 年度は 5 学級、翌 38 年度には 6 学級募集となった。特に女子が増加し、31 年は 51 名が入学、38 年には倍増の 110 名、43 年の入学生からは男子数を上回り、45 年には全校生徒中でも男子数を上回るようになっていった。部活動数も増え、37 年にはソフトボール・バスケットボール・コーラス部が創設された。47 年に創刊された生徒会誌『六華』によると、運動部 13・文化部 16、現在はない山岳、スキー、物理、化学部などもあったことがわかる。

新校旗ができる

昭和 38 年に開かれた同窓会で、50 周年事業の一環として新校旗制定案が決定され、翌 39 年に現在の校旗である紫地に金刺繍の校章と校名を入れたものが完成した。デザインの担当は美術担当の中村教諭だった。39 年には創立 50 周年式典が開かれた。

六華商事・六華銀行

昭和 30 年代の六華商事には様々なものが売られており、33 年にはクリーニングも扱っていた。また、35 年からは昼食用として「中華そば」（60 円）の販売も始まり、43 年にはアイスクリーム等も販売するようになっていたが、49 年に商事は組織を改め、銀行は廃止された。

中田原新校舎へ移転

昭和 35 年、本校に定時制課程 1 学級が開設され、43 年度には高田南城高校としてスタートする。それに伴い、本校は旧陸軍練兵場であった現在の場所に移転をすることになった。翌 46 年 3 月末、最初に商業科棟特別教室が完成した。当初、2・3 年生は新旧両校舎を移動しての授業だった。翌年には普通教室棟も完成し、9 月 4 日からの 3 日間、全校で新校舎への搬入・配置を行った。これが現在私たちが使用している校舎である。

野球部 甲子園出場

昭和 51 年、野球部が県大会決勝で長岡高校を破り、創立以来始めてとなる甲子園出場を果たした。初戦は宮崎県の福島高校とであり、10—7 で勝利した。第 2 試合目の愛知県中京高校戦は 1—12 で敗れはしたが、新潟県勢としては昭和 37 年以来 13 年ぶりとなる勝ち星を挙げた。

60 周年記念式典

この年の 10 月 15 日、60 周年記念式典が盛大に行われた。16、17 日には「祝 60 周年 青春の奔流 60 年の軌跡」というテーマで高商祭が行われ、喫茶や食堂、映画・レコードコ

ンサートなどの企画があったが、中でも目立っていたのが野球部の甲子園出場記念展示だったそうだ。11月2日には作家の幸田文氏を招いて文化講演会が行われた。

(金子・長澤)

(参考資料『鮫城健児の歩み』・生徒会誌『六華』創刊号・第5号)